



2025年3月14日

各位

会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ  
代表者名 代表取締役社長 殖栗 道郎  
(コード番号：7327 東証プライム)  
問合せ先 経営企画部長 三島 康人  
電話番号 (025) 224 - 7111 (大代表)

## 「2025年3月期通期業績予想の上方修正」および 「期末配当予想の修正（増配）」に関するお知らせ

当社は、2024年11月8日に公表した「2025年3月期通期業績予想」および「2025年3月期の配当予想」について、下記の通り上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2025年3月期通期業績予想の上方修正

##### (1) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益※
	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,600	25,000	286.57
今回修正予想 (B)	39,100	28,000	320.48
増減額 (B-A)	3,500	3,000	
増減率 (%)	9.8	12.0	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	30,868	21,203	237.35

※ 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
1株当たり当期純利益については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

##### (参考) 第四北越銀行単体の2025年3月期通期業績予想数値の修正

	コア業務純益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	33,100	30,500	21,400
今回修正予想 (B)	38,300	33,600	24,100
増減額 (B-A)	5,200	3,100	2,700
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	33,172	25,417	16,062

##### (2) 修正の理由

グループ一体でのコンサルティング機能の発揮により法人向け役務収益が好調に推移していることに加え、市場金利の上昇などに伴い貸出金利息や有価証券利息配当金等の資金利益が当初予想を上回るほか、経費が当初予想を下回る見込みであることから、2025年3月期通期の業績予想を上方修正するものです。

## 2. 期末配当予想の修正（増配）

株主還元方針（参考参照）を踏まえ、本日公表の通期業績予想（上方修正）に基づき、2024年11月8日に公表した2025年3月期の配当予想を下表の通り修正（増配）いたします。

具体的には、期末配当予想を前回予想比1株当たり14円増配し70円（前期実績比32.5円増配）といたします。なお、本件増配により、2025年3月期の通期業績予想に対する配当性向は40.1%となります。

### 期末配当（1株当たり）予想の修正（増配）

	第2四半期末（中間）	期 末	年 間
前回予想 （株式分割前換算）	—	56円00銭 <sup>（※2）</sup> （112円00銭）	— <sup>（※3）</sup> （224円00銭）
今回修正予想 （株式分割前換算）	—	70円00銭 <sup>（※2）</sup> （140円00銭）	— <sup>（※3）</sup> （252円00銭）
当期実績	112円00銭 <sup>（※1）</sup>	—	—
前期実績 （2024年3月期）	70円00銭	75円00銭	145円00銭

※1. 2024年9月30日を基準日とする中間配当金は、分割前の株式数を基準とします。

※2. 2025年3月31日を基準日とする期末配当金は、分割後の株式数を基準とします。

※3. 年間配当金（予想）につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、上表において「—」と表示し、株式分割前換算での配当金のみを表示しております。

なお、上表に記載の配当を全て株式分割後で換算した際の配当は以下のとおりです。

	第2四半期末（中間）	期 末	年 間
前回予想	—	56円00銭	112円00銭
今回修正予想	—	70円00銭	126円00銭
当期実績	56円00銭	—	—
前期実績 （2024年3月期）	35円00銭	37円50銭	72円50銭

## 3. 第三次中期経営計画の見直し

本年度の業績予想や足元での金利情勢、政策保有株式の縮減見込みなどを総合的に勘案し、現在、第三次中期経営計画の見直し（上方修正）を検討しており、見直し次第速やかに開示を行う予定としております。

※本資料に記載されている業績予想は、本資料の公表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

### （参考）当社の株主還元方針

当社は、金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

具体的には、1株当たり配当金は原則として累進的とし、配当性向は40%程度とします。自己株式の取得は業績や市場環境等を総合的に考慮したうえで機動的に実施します。

なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に5%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。

以上